



**DSK**

株式会社 電算システム

# 株主の皆さまへ

第48期 中間報告書

第2四半期連結累計期間

平成26年1月1日～平成26年6月30日



古川祭・起し太鼓(岐阜県・飛騨市)

東証第一部 / 名証第一部 3630

# DSK

の経営姿勢

Challenge  
Innovation  
Speed

## Contents

株主の皆さまへ／配当について	02
クラウドサービス事業の中核的存在 事業拡大を続ける Google 関連ビジネス	03
シリーズ・お客様とともに Vol.10	06
平成26年12月期 第2四半期(累計)の業績について 事業別の業績/連結財務ハイライト/第2四半期(累計)連結財務諸表(要約)	07
DSK TOPICS	11
Go! Go! DSK Vol.6 ~当社で長年培ったノウハウと経験が強み オートオークション(中古車オークション)のシステム~	13
会社概要及び株式情報	14
DSKラウンジ	裏表紙

特集

Gifu

DSK

表紙について

「古川祭・起し太鼓(ふるかわまつり・おこしだいこ)」



全国に名を馳せる古川祭は、岐阜県飛騨市古川町の町内にある気多若宮神社の例祭です。国の重要無形民俗文化財にも指定されている伝統神事であり、日本三大裸祭りの一つにも数えられています。

この祭りは、神社での古式ゆかしい神事「御神輿行列」を中心に、「動」の「起し太鼓」と「静」の「屋台行列」が二大祭事として加わり、これらの三つの行事群により4月19日、20日の2日間にわたって盛大な時代絵巻が繰り広げられます。

(写真: 飛騨市役所観光課提供)

## 株主の皆さまへ

売上は、前年同期比8.4%増収。  
利益面では、営業利益、経常利益、純利益ともに  
前年同期比20%以上の増益となりました。

代表取締役社長執行役員COO  
(最高執行責任者)

たなか やすのり  
田中 靖哲



株主・投資家の皆さまには、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申しあげます。

平成26年12月期(第48期)第2四半期連結累計期間の決算の概要がまとまりましたので、ご報告させていただきます。

当第2四半期連結累計期間において、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要等の一時的な需要増となる一方で、その反動による影響も見られましたが、累計期間を総じると中間計画を達成することができ、順調に推移しております。

情報サービス事業と収納代行サービス事業のセグメント別の状況は、情報サービス事業では、BPO業務の量的拡大やWindows XPサポート終了の特需により業績が好調であった上に、大型SI案件の受注など順調に成果が上がりました。収納代行サービス事業では、クレジットカード決済における売上とクレジット手数料を相殺し純額表示としたことな

ど、今期に限定される各種の売上減の影響を、新規のお客様が増えたことによりカバーでき、増収増益を確保しました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、131億52百万円(前年同期比8.4%増)、利益においては、営業利益は6億37百万円(前年同期比20.8%増)、経常利益は6億50百万円(前年同期比25.0%増)、四半期純利益は、3億73百万円(前年同期比26.1%増)となりました。

下期からは、(株)NTTドコモ様との Google クラウドビジネスの業務提携効果が期待できるほか、国際送金サービスにおいては、送金件数が著しい伸びを示しているなど、近年立ち上げたサービスが開花してまいります。さらに新たなサービスを企画していくと同時に、通期計画の達成に向け全社一丸となって邁進してまいりますので引き続きのご支援ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

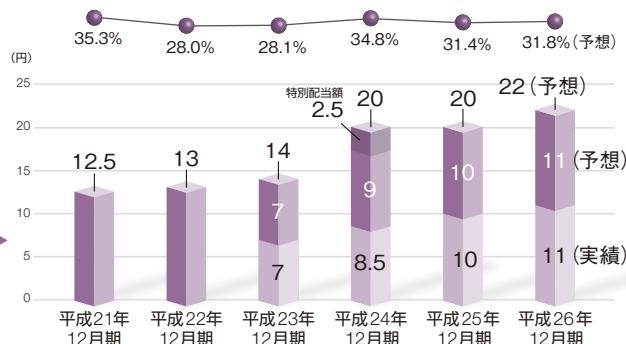
## 配当について

当社では上場以来、毎年普通配当において増配を維持しており、平成26年12月期は中間11円、期末11円の年間22円(前期と比較して2円増配)を予定しております。

### 1株当たり配当額の推移(単位:円)

※過去の配当額は、株式分割(平成25年7月1日を効力発生日として普通株式1株を2株に分割)を勘案した数値

- 配当性向
- 一株当たり期末配当額
- 一株当たり中間配当額



# 事業拡大を続ける Google 関連ビジネス

Google 関連ビジネスは、当社が注力しているクラウドサービス事業において現在も今後の飛躍のためにも大きな役割を担っています。今回の特集では、Google 関連ビジネスのご紹介とこのビジネスの今後の展開についてご説明します。

## 当社における Google 関連ビジネスが担う役割

当社のクラウドサービスは2つの側面からアプローチしています。一つはデータセンターなどのインフラ的側面と、もう一つはアプリケーションの側面です。この中で、Google 関連ビジネスは、当社の代表するクラウドサービスアプリケーションとしての役割を担っています。

## ● 当社の Google 関連ビジネスの収益モデル

(Google Apps for Business™)



各企業様の規模、社員数などによりお決めいただいたアカウント数に応じて月額利用料をいただいております。その他、導入に際してのカスタマイズ費用や、当社ならではの運用サポート費も企業様ごとにいただいております。

当社では、国内に数社しかいない「Google Apps プレミアエンタープライズパートナー (販売代理店)」であると同時に Google Apps for Business™ 以外にも Google の各種ソリューションを提供しています。

### その他のエンタープライズ製品 (企業向けの IT システム) の主なもの

#### Google 検索アプライアンス

- ・Google テクノロジーによる企業向け検索サービスの構築
- ・ナレッジマネジメントとしての活用
- ・企業内統合検索基盤 (ESP) の構築

#### Google Cloud Platform

- ・Google が提供するインフラへの導入設計や構築・運用・保守
- ・Google App Engine の契約代行

# 大企業から中堅、中小企業まで多数の企業様にご導入いただいている オフィス生産性を高めるビジネスツール Google Apps for Business™

当社が取り扱う Google の企業向けソリューション Google Apps for Business™ は、メール、スケジュール、情報共有機能などビジネス、社内情報共有のための各種機能が備わったオフィス生産性を高めるビジネスツールです。また、いつでも、どこでも、どの端末でも利用が可能なクラウドベースのサービスです。

このツールを利用することで、社員の情報共有が容易になりコミュニケーションが活性化されることで業務効率向上が実現できます。

多機能な上、メンテナンス不要なサービスで、世界で500万以上の企業で採用されています。

当社では、導入から運用までを一貫してサポートしています。

## ● ご導入企業様の活用イメージ

**導入する前は**  
会社に戻ってから見積書の確認やミーティングの日程調整ができないとなると、明日までにプレゼン資料が間に合うかな…

**導入すると**

最新のプレゼン資料にするために、協同で編集しよう！  
売上データを更新しておいてくれ。

課長のオンラインステータスが緑ですから、今なら見積り承認してもらえそうですね。すぐにチャットで課長に依頼しましょう！

営業チームのミーティングの日程を決めないといけない。メンバーのスケジュールを確認しよう…。よし、〇日は全員空いているから、すぐに会議室を予約して招待状を送ろう！

クライアントとの過去メールや添付資料、スタッフの予定は帰社途中でも瞬時に確認。

Update Update

Google Apps for Business™ はマルチデバイスに対応。外出先からでもちょっとした空き時間を利用して作業できるため、業務の効率化ができます。

# 当社の Google 関連ビジネスの特徴

## ● Google との非常に深い信頼関係があり、他社よりも優位な状況でのソリューション提供ができます。

- Google エンタープライズジャパン創業期から他社に先んじた関係構築。
- Google エンタープライズの表彰制度が始まった2008年より Google パートナー企業向け「Google Enterprise Japan Partner Award」を7年連続で受賞しているのは当社だけ。
- 「Google Apps プレミアエンタープライズパートナー（販売代理店）※」として認定されているのは、国内数社のみ。

※この地位を獲得すると、より高度なサポート「プレミアムサポート」を提供することが可能となるため、顧客を獲得するうえで非常に優位な状況にあります。



※Google Apps for Business™ 更新率(2013年度 当社調べ)

05

## ● Google 関連ビジネスの今後の展開

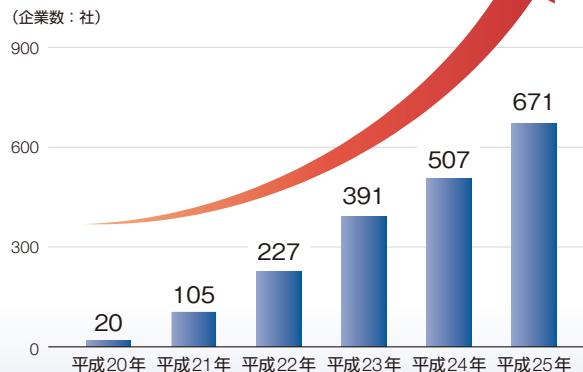
戦略的パートナーとして業務提携契約を締結した(株)NTTドコモ様との取り組みをはじめ、引き続き導入企業数の増加を目指すとともに、当社のその他ソリューションとの連携を行い、ビジネスを拡大していきます。

### Google 関連ビジネスの経緯

- H18年** 検索エンジン『Google 検索アプライアンス』のリセラー契約を締結・販売開始  
『Google 検索アプライアンス』の国内の第1期開発パートナーに認定
- H20年** 『Google Apps for Business™』の開発・販売パートナーに認定
- H22年** 無償での Google Apps 障害時24時間365日サポートを開始
- H24年** 『Google Commerce Search』(ECサイト向けの検索サービス)リセラー契約を締結・販売開始
- H25年** Google 認定の Google Apps 向けプレミアムサポートの提供開始  
(株)NTTドコモ様とクラウドビジネスにおける業務提携を締結

※記載されている製品名は、Google の登録商標、もしくは商標です。

### ■ Google 関連ビジネスにおける導入企業数の推移



## オフィスが変わる Google Apps

### ■TOTO株式会社様について

日本にまだ下水道の概念も浸透していない頃に国産初の「腰掛け水洗便器」を開発。1917年の設立から一貫して「新しい生活価値の創造」に取り組む総合住設企業です。

TOTO(株)様のものづくりは人と暮らしをしっかりと見つめ、深い思いやりをかたちにしていくこと。TOTO(株)様は環境やユ



ニバーサルデザインを企業活動の柱として、キッチンから浴室・洗面・トイレなどのサニタリーまで、住まいにかかわる快適空間を提案し続けています。



### ■TOTO株式会社様 Before → After

#### 導入前

- 1 海外を含めた各拠点とのコミュニケーションを多様な手段でスムーズに行いたい
- 2 移動・準備・通信に要するコストを低減したい
- 3 ツールを統一化して管理負担を低減したい
- 4 セキュリティへのリスクを低減したい

#### 導入後の期待される効果

- 遠隔地間でも対面打ち合わせと同様の意思疎通、ディスカッションが実現(WEB会議)
- スケジュール・アポイントの管理が容易に(統一化したスケジューラーの利用)
- 移動や資料印刷などの準備のためのコストが低減
- メーカー大手で採用されている認証サービス“クラウド・ゲート”により信頼性の確保

Google Apps for Business™



### TOTO株式会社様からのコメント

#### Q 電算システムを選んだ理由は何か？

A 電算システムを選んだ理由の一つに「経験値の高さ」があります。競合他社に比較してGoogle Appsの取り扱い経験年数がどこよりも長いことです。実際に導入社数も多く、経験と実績の両方の面から導入教育・教育素材・教育カリキュラムの立案から実践まできめ細かい対応を期待しました。

もう一つは「エンジニアへの期待値」です。電算システムには、Google Apps専門組織および専門エンジニアが存在しています。熟知した専門エンジニアがいることで、設計時などにGoogle 特有のセキュリティの考え方や特殊な機能について強力な支援が得られることを期待して電算システムをお願いすることにしました。

#### Q 今後電算システムに期待するものは何か？

A 電算システムは営業部門・エンジニア部門が統合されており、ユーザー要望に関して両視点からスピーディーに対応いただけました。今後も、ドライブやサイト等、Google Appsにあるさまざまな機能を最大に活用すべく、他社の事例を含めた最新の情報発信や、電算システムが主体となった Google ユーザー同士による意見交換/交流の場を定期的に行っていただきたいと思います。

# 平成26年12月期 第2四半期(累計)の業績について

当社グループの平成26年12月期(第48期)

第2四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年6月30日)における業績・財務概況及び通期の業績予想についてご報告いたします。

## 全体業績

当第2四半期連結累計期間における売上高は131億52百万円(前年同期比8.4%増)、利益においては、営業利益は6億37百万円(前年同

期比20.8%増)、経常利益は6億50百万円(前年同期比25.0%増)、四半期純利益は3億73百万円(前年同期比26.1%増)となりました。

Point

1

### 通期計画達成に向けて、順調な推移状況となりました。

売上は、前年同期比8.4%増収。利益面では、営業利益、経常利益、純利益ともに前年同期比20%以上の増益となりました。

Point

2

### 純資産は、前連結会計年度末と比較して3億25百万円増加し、73億97百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が2億76百万円、新株予約権の行使により資本金、資本剰余金がそれぞれ27百万円増加したことによるものです。

Point

3

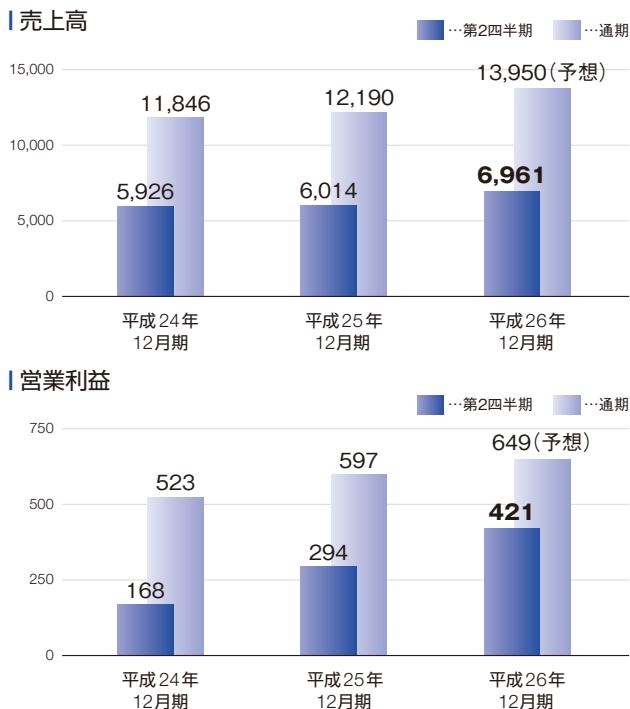
### 売上高270億円、営業利益・経常利益では11億円超の通期計画達成を目指します。

将来の成長分野に経営資源や要員の傾斜的な投入を図り、事業力の強化と企業収益の拡大に努めてまいります。これにより、平成26年12月期の連結業績は、売上高270億円(前期比9.9%増)、営業利益11億20百万円(前期比10.2%増)、経常利益11億20百万円(前期比9.6%増)、当期純利益6億67百万円(前期比12.4%増)を見込んでおります。

## 事業別の業績

単位:百万円、単位未満切り捨て

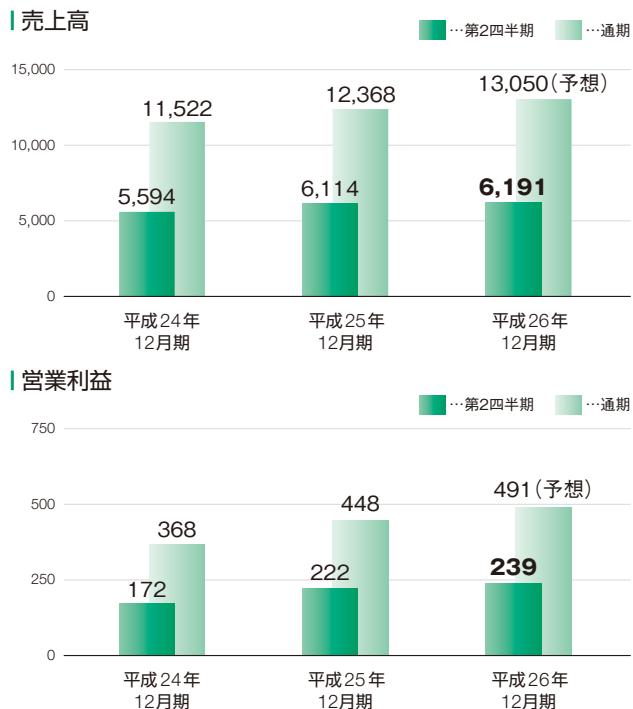
### 情報サービス事業



売上高は、前年同期比15.7%増収の69億61百万円、営業利益は、43.3%増益の4億21百万円となり、順調に推移

SI・ソフト開発においては、システム開発の大型案件の検収があったことや、Windows XPのサポート終了に伴う駆け込み需要などがあったことから、売上が伸びました。情報処理サービスにおいては、請求書作成代行などのアウトソーシング業務、郵便局関連及び大手小売店向けのギフト処理サービスなどの売上が順調に推移しました。

### 収納代行サービス事業



売上高は、前年同期比1.3%増収の61億91百万円、営業利益は、7.8%増益の2億39百万円となり計画の範囲内で進捗

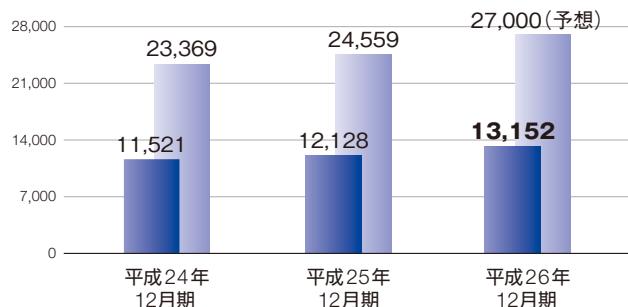
新規顧客の獲得や収納代行窓口サービスの拡大は順調に推移しましたものの、税制改定や一部通信販売事業者の合理化の動きに加え、クレジットカード決済において売上とクレジット手数料を相殺し純額表示とした影響等から売上は微増に留まりました。

# 連結財務ハイライト

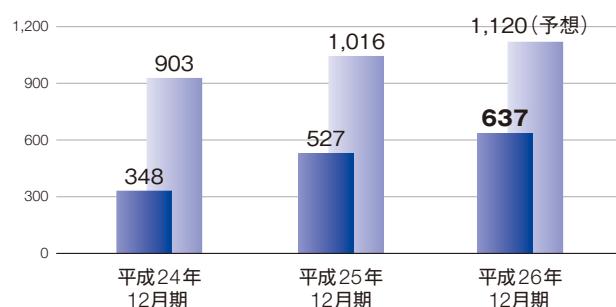
単位:百万円、単位未満切り捨て

…第2四半期 …通期

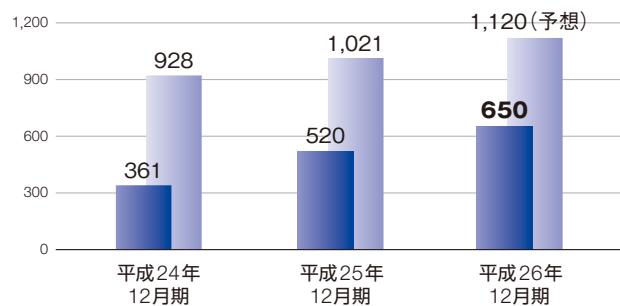
## 売上高



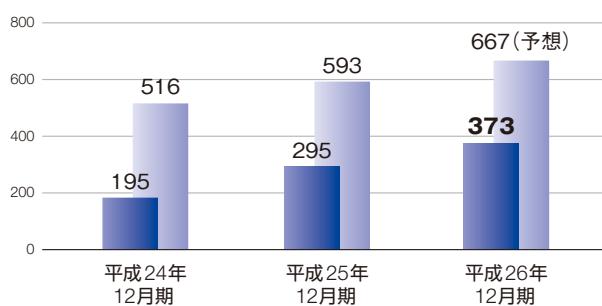
## 営業利益



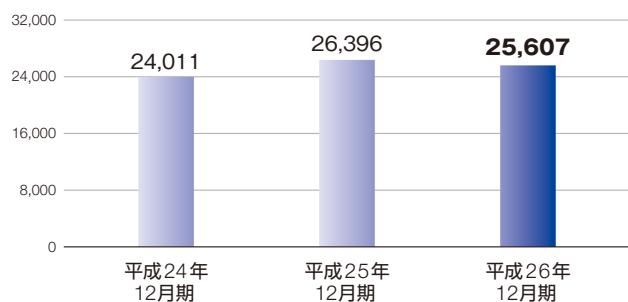
## 経常利益



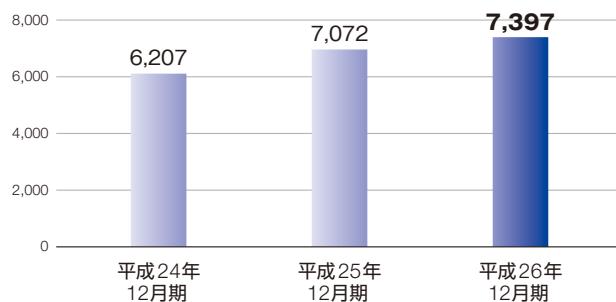
## 四半期純利益／当期純利益



## 総資産



## 純資産



## 第2四半期(累計)連結財務諸表(要約)

単位:百万円、単位未満切り捨て

## 四半期連結貸借対照表

	前期末 平成25年12月31日現在	当第2四半期 平成26年6月30日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	22,647	<b>21,634</b>
固定資産	3,749	<b>3,972</b>
有形固定資産	2,626	<b>2,720</b>
無形固定資産	328	<b>273</b>
投資その他の資産	794	<b>979</b>
資産合計	26,396	<b>25,607</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	18,767	<b>17,753</b>
固定負債	557	<b>456</b>
負債合計	19,324	<b>18,209</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	6,878	<b>7,210</b>
資本金	1,189	<b>1,217</b>
資本剰余金	889	<b>917</b>
利益剰余金	4,883	<b>5,160</b>
自己株式	△84	<b>△84</b>
その他の包括利益累計額	102	<b>83</b>
少数株主持分	91	<b>104</b>
純資産合計	7,072	<b>7,397</b>
負債純資産合計	26,396	<b>25,607</b>

## 四半期連結損益計算書

	前第2四半期 平成25年1月1日から 平成25年6月30日まで	当第2四半期 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで
売上高	12,128	<b>13,152</b>
売上原価	10,045	<b>10,879</b>
売上総利益	2,083	<b>2,272</b>
販売費及び一般管理費	1,556	<b>1,634</b>
営業利益	527	<b>637</b>
営業外収益	9	<b>15</b>
営業外費用	17	<b>2</b>
経常利益	520	<b>650</b>
税金等調整前四半期純利益	520	<b>650</b>
法人税、住民税及び事業税	343	<b>397</b>
法人税等調整額	△132	<b>△133</b>
少数株主利益	13	<b>13</b>
四半期純利益	295	<b>373</b>

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第2四半期 平成25年1月1日から 平成25年6月30日まで	当第2四半期 平成26年1月1日から 平成26年6月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	835	<b>682</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△565	<b>△453</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	48	<b>△167</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7	<b>2</b>
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	311	<b>63</b>
現金及び現金同等物の期首残高	1,966	<b>2,540</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,277	<b>2,603</b>

当社をより深くご理解いただくために、当社が取り組んでいる諸活動の内容やトピックスをご紹介します。

## 東濃データセンターの事業安全、商売繁盛を願い、同センターに「八雲神社」を創建

「八雲神社」は、当社のビジョン「金華八策」の「八」と当社東濃データセンターが進めるクラウドコンピューティングの象徴である「雲」から由来しています。



(株)十六総合研究所(十六銀行グループのシンクタンク)様発行の「経済月報」に(株)十六総合研究所 小里社長と当社の宮地会長の対談(トップと語る)が掲載されました。対談では、当社グループの経営戦略や将来展望について、宮地会長が説明をいたしました。

## 平成26年12月期 株主優待の内容が決定いたしました

**3,000円相当の商品を進呈!**

以下の奥美濃「郡上」特産品及び当社オリジナルQUOカードの中から、1つをお選びいただけます。

- ① 郡上ハム特選セット
- ② 郡上地酒
- ③ 奥美濃郡上のお米
- ④ 郡上ひるがの高原からの贈り物
- ⑤ 当社オリジナルQUOカード(郡上おどりデザイン)

対象:平成26年12月31日時点の株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上ご所有の株主さまを対象といたします。

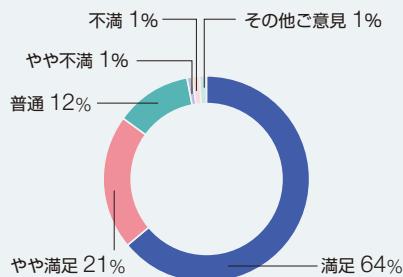


※写真はイメージであり、実際の優待品とは異なる場合がありますのでご了承ください。

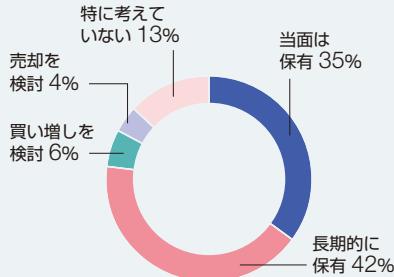
## 株主さまアンケートの結果報告

今年3月に株主さまへ、株主優待商品のお申し込みに合わせて、株主優待やIR活動についてのアンケートを実施させていただきました。約9,900名の株主さまからご回答をいただきました。頂戴いたしました貴重なご意見・ご要望を今後の株主優待、IR活動の参考にさせていただきます。

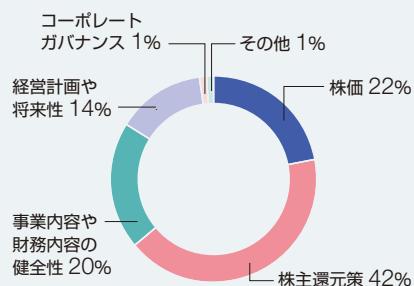
**Q** 今回の株主優待内容に関するご感想をお聞かせください。



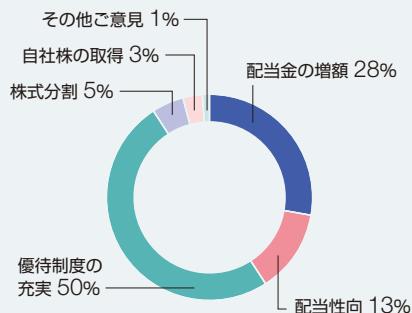
**Q** 今後の当社の株式保有についてお考えをお聞かせください。



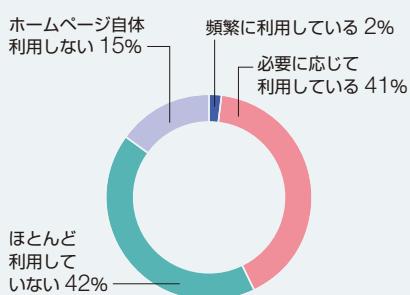
**Q** 当社の株式を長期に保有していただくためには、何を重視されますか？  
(複数回答可)



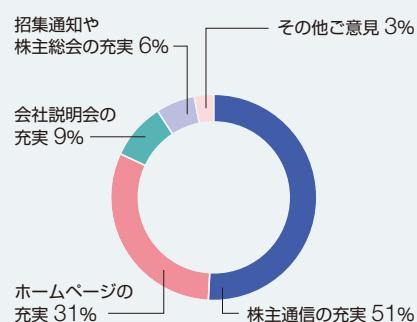
**Q** 株主還元策で最も重視するものを一つお選びください。



**Q** 当社のホームページに掲載しているIR情報はご利用されていますか？



**Q** 今後どのような情報提供の充実を期待されますか？



## ～当社で長年培ったノウハウと経験が強み オートオークション(中古車オークション)のシステム～

当社には、オートオークション業界の発展や変化と共に歩んできた25年以上の実績があります。業界を取り巻く環境やサービス形態の変化に、柔軟に的確に対応してきたことがお客様より高い評価をいただいております。

### Q1. オートオークションのシステムについて簡単に教えてください。また、電算システムのオートオークションシステムの特徴も併せて教えてください。

車を下取りや買取店に出した後の流通経路として、業者間による中古車のオートオークションがあります。オートオークション会場に集まった中古車は、「せり上げ方式」にて落札されて中古車販売展示場に再び並び販売されるのです。中古車の出品台数が多い会場では、1日1万台せりにかけられるところもあり、そのような大規模会場では1台5秒から10秒というスピードでせりが決定していきます。当社のオートオークションシステムはオークション運営に必要な業務をすべてシステム化したものです。例えば、その車両情報(メーカー・車名・車種・装備など)や、検査結果情報、撮影画像情報などを登録する業務、オークション当日せりの進捗を管理する業務、車両の売買代金仲介管理業務、車検制度や自動車税に関する管理などです。さらに、インターネット上での各種サービスの利用やリアルタイムでせりに参加ができるシステムも提供しております。当社の特徴は、オートオークション業務に精通したサポートの提供、いち早く“オンライン上でのせり”を実現した先進性、総合力を生かしたコンサル的な提案にあると思っています。



株式会社JU岐阜羽島オートオークション様



カスタマーサービス事業部 営業部第二営業課 写真左から「片野正 係長」「小川晃司 課長」「水谷勝雄 担当課長」

### Q2. 実績について具体的に教えてください。

実例で申しますと、JU(日本中古自動車販売協会連合会)系オートオークション会場様、プライベートオートオークション会場様への導入実績があり、これまで全国に合計19会場を手掛けております。その内容も小規模から大規模まで幅広く経験しております。

これらの実績はお客様に育てていただいた結果であり、さらなるシステム開発の技術の向上と実績となって、お客様からの信頼と評価につながっていると深く感謝しています。

### Q3. 今後の展開について聞かせてください。

やはり、もっと経験値を高くしていきたいので、お客様の業務に対するさらなる深掘りと、システム化できる業務範囲の拡大でお客様へ効率化を提供していきたいと考えています。また、タブレットなどのウェアラブル端末を利用した新しいシステムにも積極的に取り組んでいきたいと思っております。そして実績数をもっと積み重ね、ユーザー数が増えれば、新しいサービスの提供もできるのではと思っています。



# 会社概要及び株式情報 (平成26年6月30日現在)

## ■ 会社概要

商号	株式会社電算システム(Densan System Co.,Ltd.)
設立年月日	昭和42年3月14日
資本金	12億1,721万円
従業員	連結682名(単体579名)
事業内容	・情報サービス事業(SI・ソフト開発、情報処理サービス、商品販売) ・収納代行サービス事業
本社所在地	岐阜本社 〒501-6196 岐阜県岐阜市日置江一丁目58番地 TEL.058-279-3456 東京本社 〒104-0032 東京都中央区八丁堀二丁目20番8号 八丁堀東急ビル TEL.03-3206-1771

## ■ 株式の状況

発行可能株式総数(普通株式)	29,760,000株
発行済株式の総数(普通株式)	9,998,500株
株主数	9,833名

## ■ 大株主

株主名	持ち株数(株)	持ち株比率(%)
電算システム従業員持株会	927,066	9.2
ヒロタ株式会社	890,100	8.9
株式会社十六銀行	441,900	4.4
株式会社大垣共立銀行	424,900	4.2
宮地 正直	420,070	4.2
岐阜信用金庫	359,900	3.5
有限会社福田製作所	250,000	2.5
内木 一博	212,670	2.1
株式会社トーカイ	207,180	2.0
TIS株式会社	200,000	2.0

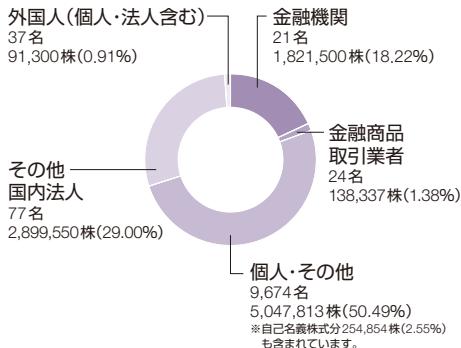
※順位において自己株式254,854株を除いております。

## ■ 取締役及び監査役

代表取締役会長執行役員 CEO	宮地 正直
代表取締役社長執行役員 COO	田中 靖哲
専務取締役執行役員	小林 領司
常務取締役執行役員	まつうら 陽司
取締役執行役員	あきの ゆういち
取締役執行役員	かとう とおる
取締役執行役員	すぎやま まさひろ
取締役執行役員	めくろ ひろゆき
取締役執行役員	ごとう はると
取締役	ほんごほら せいじ
監査役	まわべ しげみ
監査役	とみさか ひろし
監査役	のだ ゆうじ

- (注)  
 1. CEO (Chief Executive Officer) 最高経営責任者  
 2. COO (Chief Operating Officer) 最高執行責任者  
 3. 盆子原誠治氏は、社外取締役(非常勤)であります。  
 4. 富坂 博、野田勇司の両氏は、社外監査役(非常勤)であります。

## ■ 所有者別株式分布状況



## IRサイトのご紹介

個人投資家向けIRサイトを設置しております。  
ぜひ、ご活用ください。

IR情報 URL

<http://www.densan-s.co.jp/ir/index.html>



## 個人投資家向けIRイベント

個人投資家の皆さまを対象に、当社への理解促進と個人株主さまの拡大を目指して会社説明会を実施しています。



### 平成26年 参加実績

平成26年5月23日	日本証券新聞社主催 <b>大阪</b> 個人投資家向け説明会
平成26年6月14日	東海東京証券主催 <b>名古屋</b> 個人投資家向け説明会
平成26年7月25日 26日	名古屋証券取引所主催 <b>名古屋</b> 名証 IR エキスポ2014

## 株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月中
基準日	定時株主総会・期末配当 毎年12月31日 中間配当 毎年6月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法とします。 【当社ホームページ】 <a href="http://www.densan-s.co.jp/">http://www.densan-s.co.jp/</a>
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 名古屋証券取引所市場第一部
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

#### ●住所変更のお申出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社等に口座を開設されていない株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

#### ●配当金計算書について

配当金支払いの際に送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。※確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

## 株式会社 電算システム